「せ」で始まる語彙辞典（メジャー）

小説・ラノベの文章表現を
豊かにしよう

はじめに

こちらの語彙辞典は、
小説投稿サイト『小説家になろう』で公開している
【小説・ラノベの書き方講座｜ビジネス思考の創作論】の中の
『小説・ラノベの文章表現を豊かにする 50 音別の語彙辞典』を
ＰＤＦレポート形式に整理したものです。

多くの語を記憶することで、
あなたの文章表現力は
今よりも豊かなものとなります。

『１日５語ずつ』などのように目標を決めて、
今の自分が知らない語を暗記していきましょう。

なお、こちらの語彙辞典は
ノマドクリエイターのショウヘイが
趣味の一環で制作したものです。

商用で販売するつもりは一切ないので、
あなたの友人・知人の作家仲間に
自由に配布してくださって構いません。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

目次

はじめに 2

「せ」で始まる語彙辞典（メジャー） 4

おわりに 25

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

「せ」で始まる語彙辞典（メジャー）

せい - えん【清艶】
［名・形動］
清らかであでやかなこと。清らかでしとやかなこと。また、そのさま。「―な女性」「―な文章」

せいかつ - せっけい【生活設計】
将来どのような生活を送るかについて計画を立てること。また、その計画。人生設計。「―が狂う」

せい - かん【盛観】
りっぱで盛大な見もの。「―を極めた祭典」

せい - が【清雅】
［名・形動］
清らかで上品な美しさのあること。また、そのさま。「―な色調の絵」

せい - が【静臥】
［名］（スル）
静かに横になること。「病床に―する」

せい - き【清気】
澄んでいてきれいな空気。また、清らかな気。「大自然の―に触れる」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - き【盛期】
盛んな時期。「収穫の―」

せい - きょ【逝去】
［名］（スル）
他人を敬って、その死をいう語。「先生が―される」

せい - きょう【盛況】
催し物に多くの人が集まって、盛んなようす。「バザーは―のうちに終わった」

せい - きょう【精強】
［名・形動］
とびぬけて強いこと。また、そのさま。「―を誇る」「―な部隊」

せい - きん【精勤】
［名］（スル）
仕事や学業などにまじめに励むこと。「業務に―する」「―手当」

せい - こう【盛行】
［名］（スル）
盛んに行われること。「英会話の教室が―する」

正鵠（せいこく）を◦射る
物事の急所を正確につく。正鵠を得る。「―◦射た指摘」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

精彩(せいさい)を放・つ
際立ってすぐれているところを見せる。「ひときわ―・つ活躍ぶり」

せい - さつ【省察】
［名］(スル)
自分自身をかえりみて、そのよしあしを考えること。「自らの言動を―する」

せい - さん【成算】
成功する見込み。「事業を軌道にのせる―がある」

せい - さん【凄惨】
［名・形動］
目をそむけたくなるほどいたましいこと。ひどくむごたらしいこと。また、そのさま。「―をきわめる事故現場」「―な戦い」

せい - ざ【静座】
［名］(スル)
心を落ち着けて静かに座ること。「威儀を正して―する」

せい - すい【精粋】
まじりけのないこと。また、選び抜かれたすぐれたもの。「日本料理の―を賞玩する」

せい - ずい【精髄】
物事の本質をなす最も重要な部分。「和歌の―を究める」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - せい【精製】
［名］（スル）
① 十分に念を入れてつくること。「材料を選び―した品」
② まじりものを除いて、純良なものをつくりあげること。「原油を―する」

せい - せん【精選】
［名］（スル）
多くの中から良いものをよりすぐること。えりぬき。「―した原料」

せい - ぜつ【凄絶】
［名・形動］
非常にすさまじいこと。また、そのさま。「―な争い」

せい - ぜん【整然】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
秩序正しく整っているさま。「―たる行列」「理路―」

せい - そう【星霜】
《星は１年に天を１周し、霜は毎年降るところから。古くは「せいぞう」》
としつき。歳月。「―ここに幾十年」「幾―を経る」

せい - そう【凄愴】
［名・形動］
悲しみいたむこと。また、非常にいたましいさま。「宣教師たちの―な殉教の歴史」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - そう【凄愴】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
非常にいたましいさま。また、ものさびしく、すさまじいさま。「―とした戦闘の跡」

せい - そう【清爽】
［名・形動］
清くさわやかなこと。さっぱりして気持ちがよいこと。また、そのさま。「早朝の―な空気」

せい - そう【盛装】
［名］（スル）
華やかに着飾ること。また、その装い。「―して出かける」

せい - たい【正対】
［名］（スル）
真正面から相対すること。面と向かうこと。「死と―する」

清濁（せいだく）併（あわ）せ呑（の）む
心が広く、善でも悪でも分け隔てなく受け入れる。度量の大きいことのたとえ。

せい - ち【精緻】
［名・形動］
極めて詳しく細かいこと。たいへん綿密なこと。また、そのさま。「―を極めた細工」「―な観察」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - ちょう【清澄】
［名・形動］
澄みきっていて清らかなこと。また、そのさま。「―な山の空気」

井底（せいてい）の蛙（かわず）
知識や考えが狭くて、他にもっと広い世界のあることを知らない者をあざけっていう語。井蛙（せいあ）。井の中の蛙（かわず）。

せい - とう【征討】
［名］（スル）
兵を出して、背く者や逆らう者を討ち鎮めること。征伐。「賊軍を―する」

せいとく - てき【生得的】
［形動］
性質などが生まれつきであるさま。「―な才能」

せい - どう【生動】
［名］（スル）
いきいきと動くこと。特に、文字・絵画などの今にも動きだすような趣にいう。「画面に―する春の気配」「気韻―」

せい - どう【制動】
［名］（スル）
運動を急に止めたり、速力を落としたりすること。ブレーキをかけること。「―を掛ける」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - どく【精読】
［名］（スル）
細かいところまで、ていねいに読むこと。熟読。「原典を―する」

せい - ばく【制縛】
［名］（スル）
圧迫や制限を加えて行動の自由を束縛すること。「時間に―される」

せい - ひ【正否】
正しいことと正しくないこと。正と不正。「事の―を判定する」

せい - ひ【成否】
事が成ることと成らないこと。成功するか失敗するか。「結果の―は問わない」

せい - ひつ【静謐】
［名・形動］
① 静かで落ち着いていること。また、そのさま。「深夜、書斎に過ごす―なひとときき」
② 世の中が穏やかに治まっていること。また、そのさま。「―な世情」

せい - ひん【清貧】
私欲をすてて行いが正しいために、貧しく生活が質素であること。「―に甘んずる」

せい - び【精微】
［名・形動］
くわしく緻密であること。また、そのさま。「―な絵図」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - ふう【清風】
さわやかな風。すがすがしい風。また、清新な空気・気分。「一陣の―」

せいぶん - か【成文化】
［名］（スル）
慣習として人々が了解している事柄や新たにきめられた事柄を文章として書き表すこと。「規約に―されている」

せい - ぼう【声望】
世間の名声と人望。「―の高い人」

せい - やく【成約】
［名］（スル）
契約が成り立つこと。また、成り立った契約。「ようやく一件―する」

せい - りょう【清亮】
［名・形動］
音などが清らかで澄んでいること。また、そのさま。「―な音色」

せい - りょう【清亮】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
音などの澄んでいるさま。「虫の音が―として響く」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せい - りょう【清涼】
［名・形動］
さわやかで涼しいこと。冷たくてすがすがしいこと。また、そのさま。「高原の―な空気」

せい - りょう【凄寥】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
ものすごく寂しいさま。「―たる光景」

せい - れい【精励】
［名］（スル）
勉学や仕事などに精を出してつとめ励むこと。「任務に―する」「―恪勤（かっきん）」

せい - れつ【清冽】
［名・形動］
水などが清らかに澄んで冷たいこと。また、そのさま。「―な湧水（ゆうすい）」

せい - れつ【凄烈】
［形動］［文］［ナリ］
すさまじくて激しいさま。「―な戦い」

せい - ろう【清朗】
［形動］［文］［ナリ］
① すがすがしくて気持ちがよいさま。
② 空が晴れてさわやかなさま。「―な秋天」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せき - えん【積怨】
積もるうらみ。「―を晴らす」

せき - じつ【積日】
多くの日数を重ねること。積もる月日。「―の労苦をいやす」

せき - はい【惜敗】
［名］（スル）
競技や試合などで、わずかの差で負けること。「善戦むなしく―する」

せき - りょう【寂寥】
［名］
心が満ち足りず、もの寂しいこと。「―感」

せき - りょう【寂寥】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
ひっそりとしてもの寂しいさま。「―とした冬景色」

席(せき)を改・める
その場を打ち切って、宴会や会合を別の会場・機会に移して行う。「―・めて話し合う」

堰(せき)を切(き)ったよう
たまっていたものがどっとあふれ出すさま。こらえていたものが一度に起こる様子をいう。「涙が―に流れ出す」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

堰(せき)を切・る
川の流れが堰を壊してあふれでる。また転じて、おさえられていたものが、こらえきれずにどっとあふれでる。「言葉が―・って出てきた」

席(せき)を汚(けが)・す
高い地位・役職につくことや、会合に出席することを、へりくだっていう言い方。

世間(せけん)が狭・い
① 交際範囲が狭い。世間に対する知識が狭い。「まだ若いから―・い」
② 肩身が狭い。

世間(せけん)が広・い
① 交際範囲が広い。つきあいが広い。
② 世間についての知識が広い。

せけん - ずれ【世間擦れ】
［名］(スル)
実社会で苦労した結果、世間の裏に通じて悪賢くなること。「―していない人」

せけん - てき【世間的】
［形動］
① 世間一般にあるようなさま。世俗的。「―な名誉欲」
② 表向きであるさま。おおやけであるさま。「―に知られた人」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せけん - なれ【世間慣れ】
［名］（スル）
世間づきあいに経験を積んでいること。「若いわりに―していて人をそらさない」

せ - こ【世故】
世間の俗事や習慣。世間の事情。せいこ。「―に暗い」

世故（せこ）に長（た）・ける
世間の事情によく通じている。「―・けている人」

せせら - わらい【せせら笑い】
ばかにして笑うこと。また、その笑い。

せせら - わら・う【せせら笑う】
［動ワ五（ハ四）］
ばかにして笑う。あざけり笑う。また、小ばかにする。「人の失敗を―・う」

せっ - さく【切削】
［名］（スル）
金属などを切り削ること。「旋盤で鉄を―する」

せっ - しゅ【節酒】
［名］（スル）
酒を控えめにすること。飲む酒の量を減らすこと。「健康のために―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せっ - しょく【節食】
［名］（スル）
食事の量を適度に減らすこと。「美容のため―する」

せっ - すい【節水】
［名］（スル）
水をむだに使わないようにすること。「夏の間―する」

せっ - せい【節制】
［名］（スル）
度を越さないよう控えめにすること。ほどよくすること。「喫煙を―する」

せっ - そく【拙速】
［名・形動］
できはよくないが、仕事が早いこと。また、そのさま。「―に事を運ぶ」⇔巧遅（こうち）。

せっ - そん【折損】
［名］（スル）
折れて壊れること。「レールが―する」

せっちゅう - あん【折衷案】
二つ以上の案のよいところをとり合わせて、一つにまとめた案。相反する案の中ほどをとって、折り合いをつけた案。「与野党の―で決着がつく」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せつ - あく【拙悪】
［名・形動］
拙劣で粗悪なこと。また、そのさま。「―な作品」

せつ - えん【節煙】
［名］（スル）
タバコをのむ量を減らすこと。「健康を考えて―する」

せつ - げん【節減】
［名］（スル）
数量や経費などを切り詰めること。節約。「電力を―する」

せつ - せつ【切切】
［ト・タル］［文］［形動タリ］
① 心に強く迫るさま。また、心のこもっているさま。「―たる望郷の念」「―たる祈り」「―と訴える」
② 音や声が寂しく身に迫るさま。「―たる弦の響き」

せつな - しゅぎ【刹那主義】
過去や将来のことを考えないで、ただ現在の瞬間を充実させて生きればよいとする考え方。また、一時的な快楽を求めようとする考え方。「―の若者」

せつやく - づかれ【節約疲れ】
不況などの影響で、長期にわたり切りつめた生活を強いられることに飽き飽きすること。

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せつ - れつ【拙劣】
［名・形動］
技術などが劣っていること。また、そのさま。へた。「―な文章」

節(せつ)を曲(ま)・げる
自分の信念を曲げて人に従う。「―・げずにがんばり抜く」

せめ - おと・す【責（め）落（と）す】
［動サ五（四）］
① しつこくくどいて承知させる。「親を―・して小遣いをせしめる」
② 厳しく追及して白状させる。「―・されて犯行を認める」

責(せ)めを負・う
責任のある立場にいる。また、責任をとる。「事故の―・って辞職する」

責(せ)めを塞(ふた)・ぐ
ひととおりのことをやって、一応の責任を果たす。責めをふさぐ。

せ - りょう【施療】
［名］(スル)
貧しい病人などを無料で治療すること。「被災地で―する」「―患者」

せん - うん【戦雲】
戦争が始まりそうな緊張した気配。また、戦争。「―急を告げる」「―たれこめる国境地帯」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - えい【先鋭】
［名・形動］
① 鋭くとがっていること。また、そのさま。「―な穂先」
② 思想・行動などが急進的、過激であること。また、そのさま。「―な活動家」

せん - えい【鮮鋭】
［名・形動］
画面・音などが、微細なところまではっきりしていること。また、そのさま。「―な画像」「―な描写」

せんえい - か【先鋭化】
［名］（スル）
思想や行動が急進的になること。「民主化運動が―する」

せん - えつ【僭越】
［名・形動］
自分の地位や立場を越えて出過ぎたことをすること。また、そのさま。「―な言い方」「―ながら代表してあいさつをさせていただきます」

せん - か【戦渦】
戦争による混乱。「―に巻き込まれる」

せん - か【戦禍】
戦争による被害。「―を被る」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せんぎ - だて【詮議立て】
［名］（スル）
ことさらに詮議すること。「余計なことを―する」

せん - こう【穿孔】
［名］（スル）
① 穴をあけること。穴があくこと。また、あいた穴。「―して鍼（びょう）を打つ」
② 人体の器官に穴があくこと。「胃―」

せん - こう【潜行】
［名］（スル）
① 水中をもぐっていくこと。
② 人知れずひそかに行くこと。「特殊部隊が敵国に―する」
③ 社会の表面から姿を消し、官憲の目をさけて内密に活動を行うこと。「地下に―する秘密組織」

せん - こう【潜航】
［名］（スル）
① 潜水艦などが水中を航行すること。「海中深く―する」
② ひそかに航海すること。

せん - こう【繊巧】
［名・形動］
わざが細やかで巧みなこと。また、そのさま。「―な工芸品」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - し【剪枝】
［名］（スル）
樹木の枝を切り落とすこと。「果樹を―する」

せんし - ばんこう【千紫万紅】
さまざまの色。また、色とりどりの花の咲き乱れていること。千紅万紫。「―の南海の楽園」

せんし - ばんたい【千姿万態】
いろいろの、違った姿や形。「―の昆虫の世界」

せん - しょう【僭称】
［名］（スル）
身分を越えた称号を勝手に名乗ること。また、その称号。「帝王を―する」

せんじつ - らい【先日来】
このあいだから今までの間。「―続いている寒さ」

せん - じゅう【専従】
［名］（スル）
その仕事だけに従事すること。また、その人。「農業に―する」「組合―者」

せんじょう - てき【扇情的】
［形動］
感情や情欲をあおりたてるさま。「―なポスター」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - じん【戦塵】
戦場に立つちり、ほこり。転じて、戦争の騒ぎ。「―にまみれる」「―を逃れる」

詮(せん)ずるに
つきつめて考えてみるに。つまりは。結局は。「―敗因はチームワークの欠如に帰する」

詮(せん)ずる所(ところ)
《「所詮(しょせん)」の訓読語》
せんじつめて考えるに。要するに。結局。所詮。「―教師も一人の人間である」

せん - たん【戦端】
戦いのいとぐち。「―を開く」

せん - だん【専断】
［名・形動］(スル)
自分だけの考えで勝手に物事を決めて行うこと。また、そのさま。「―の処置」「―して取引に失敗する」

せん - てい【剪定】
［名］(スル)
樹木の生育や結実を調整したり、樹形を整えたりするため、枝の一部を切り取ること。「庭木を―する」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せん - な・い【詮無い】
［形］［文］せんな・し［ク］
何かをしても報いられない。かいがない。「―・いこととあきらめる」「そのまま―・く引き返す」

選(せん)に漏(も)・れる
選抜から外される。選ばれない。「代表メンバーの―・れる」

せん - ぱく【浅薄】
［名・形動］
考えや知識が浅く行き届いていないこと。また、そのさま。「―な知識」

せんぱ - ばんぱ【千波万波】
絶え間なく次々に寄せてくる波。「―を乗り越える」

せん - ぴ【先非】
過去の過ち。前非。「―を悔いる」

先鞭(せんべん)を着(つ)・ける
他に先んじて着手する。他の人より先に始める。「新システムの開発に―・ける」

せん - ぺん【千変】
［名］(スル)
いろいろに変化すること。「―する景色」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

せんぺん - ばんか【千変万化】
［名］（スル）
さまざまに変化すること。「世情が―する」

せんぺん - いちりつ【千篇一律】
［名・形動］
多くの詩がいずれも同じ調子で変化のないこと。転じて、多くの物事がみな同じ調子で、おもしろみのないこと。また、そのさま。「―な（の）正月映画」

せん - ぼつ【潜没】
［名］（スル）
水中にもぐり込むこと。特に、潜水艦が急速に潜航すること。「―して魚雷艇をかわす」

せん - みつ【繊密】
［名・形動］
細かくくわしいこと。また、そのさま。「―な情景描写」

せん - れつ【鮮烈】
［名・形動］
あざやかではっきりしていること。また、そのさま。「―な印象」

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.

おわりに

【あいさつ】

語彙辞典を読んでくださり、ありがとうございました。

当レポートを制作したショウヘイと申します。

私は旅する作家という生き方を理想としています。日本や世界の各地を渡り歩くことで、作家としての引き出し（人生経験）を増やし、より良質な物語を世に送り出し続ける……そんな自由な作家生活です。

また、個人で稼ぐ能力を身に付けることで、会社に時間と場所を縛られない人生の実現も目指します。個人で安定した収入を得られれば、出版社の編集者の言いなりにならずに、自分が心から好きな物語を創作できるようにもなるからです。

私が運営しているブログ【ノマドクリエイターの執務室】では、旅する作家になるために役立つ情報を発信しています。もちろん、小説家・ラノベ作家として活躍するために役立つ創作論も公開しています。

時間と場所に縛られない、新しい作家の生き方に興味がありましたら、ぜひブログを覗いてみてください。

↓　　↓　　↓

■ ブログ：ノマドクリエイターの執務室（https://ノマドクリエイター.net）

Copyright (C) 2019 Shohei @ Nomad-Creator All Rights Reserved.